

ハンドアウト用



Tokyo Tech

博士後期課程全学説明会

第1回：10月22日（月） 16：45-18：30

第2回：11月 8日（木） 16：45-18：30

会 場：■大岡山レクチャーシアター

西講義棟1（旧西5号館）3階）

■すすかけ台大学会館

H1・2棟 3階多目的ホール

※両日とも両キャンパスを遠隔接続

1. 全体説明

(10/22) 神田 学 教授 理事・副学長特別補佐

(11/ 8) 井村 順一 教授 副学長（教育運営担当）

2. 博士後期課程在学生による講演

物質理工学院 材料系 材料コース 井口 友莉

工学院 情報通信系 情報通信コース Nabilah Shabrina

3. 社会人（本学博士後期課程修了者）による講演

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 岩佐 稔

株式会社レゾニック・ジャパン 代表取締役

株式会社ラプソドス 代表取締役（東工大発ベンチャー） 川口 卓志

4. 講演者によるパネルディスカッション

学生支援センター（学修コンシェルジュ） 伊東 幸子 特任教授

博士後期課程在学生および社会人（本学博士後期課程修了者） 4名

目次



Tokyo Tech

全体像

- 東工大が掲げる人材像 …1
- 東工大の教育ポリシー …2
- 東工大の博士学生が目指すところ …3
- 博士後期課程のカリキュラムと修了要件 …4

教養教育

- リベラルアーツ研究教育院のビジョン …5
- リベラルアーツ研究教育院による教養教育 …6
- 博士後期課程学生に必要な教養とは？ …7
- ポスタープレゼンテーション・ミニシンポジウムの開催 …8

キャリア教育

- キャリア能力養成の教育プログラムと学院の専門教育との関係 …9
- 対応するGAを修得することで、東工大博士人材を育成する …10
- 各GA修得のために用意されたキャリア科目例 …11
- 東工大ブランドの評価（grade）を得られる人材を育成する …12

博士への 企業からの 評価

- 博士修了者進路割合 …13
- 民間企業における学歴別貢献度の評価 …14

進学・ 入学の 流れ

- 博士後期課程 進学・入学 …15

経済的 支援

- 経済的支援の概要 …16
 - TA・RA制度 …17
 - 入学料・授業料の免除/徴収猶予 …17
 - 奨学金 …18
 - 日本学術振興会による制度・プログラム …19~24

進路等

- 博士後期課程学生就職への支援 …25~26
- キャリア支援（修士・博士） …27
- Dr's K-meet …28
- <博士キャリア（一例）> …29
- 博士のアカデミアへの就職 …30



卓越した専門性とリーダーシップを
併せ持つ人材がより良い世界を創る

卓越した専門性



- 理工系基礎科目の充実
- 基礎学力・専門能力
- 科学・技術により新しい
社会を切り拓く気概

リーダーシップ



- 教養も含めた幅広い視野
- コミュニケーション能力
- グローバルな課題へ挑戦する力
- 世界に雄飛する気概と人間力

世界最高水準の研究の中で 学生が自ら学び考える教育

専門教育に教養教育を有機的に関連付けた
段階的に学修できる教育体系

科学技術への知的好奇心や
探究心、社会貢献への志

学生の目的に応じた
多様な教育プログラム

科学技術を基盤として
より良い社会を築くことができる
「挑戦し続けるフロンランナー」

学士課程

科学技術を基盤として自ら
学び考えることができる人材

修士課程

国際的に貢献できる科学技術
の専門家

博士後期課程

より良い社会を構築できる
科学技術のフロンランナー

専門職学位課程

科学技術を活用し自らの理論
を構築して産業や社会の発展
に貢献できる実務家

「日本の東工大から世界のTokyo Techへ」

【目的】 詳細：[入学案内より抜粋（夢を叶える東工大での学び方）](#)

研究室でトップクラスの研究を行い、理工系人材のパスポートである博士学位を取得して自由自在なキャリアから自分の道を選択し、学問を究めることを目的としています。

【養成する人材像（DP）】 詳細：[本学HPトップ](#)»[東工大について](#)»[東工大の方針](#)»[東工大教育ポリシー](#)

より良い社会を構築できる科学技術のフロントランナー

博士後期課程では、卓越した専門力、並びに、国際的な場で実践できる教養、そして、社会に対して論理的に説明でき、リーダーシップを発揮できる力を身に付け、限界を設けず挑戦し本質や普遍性を見抜いて、新たな知の発見、価値の創造及び発信ができる人材を養成します。

【求める人材像（AP）】 詳細：[本学HPトップ](#)»[東工大について](#)»[東工大の方針](#)»[東工大教育ポリシー](#)

幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を求めます。

博士後期課程に入学・進学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内及び教授要目

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- 600番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、キャリア科目を中心に履修。
≪修了要件≫ **600番台から24単位**以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
→ 修了後、学位取得

文系教養科目： **2**単位以上

キャリア科目： **4**単位以上（指定するGAを満たすこと）

専門科目等： **6**単位（コースによっては専門科目6単位）

講究科目： **12**単位（短縮修了者は在学中の単位のみで可）

- 修士課程時に要件を満たせば、600番台専門科目を先んじて学修することができる。（博士進学後に単位が認定される）

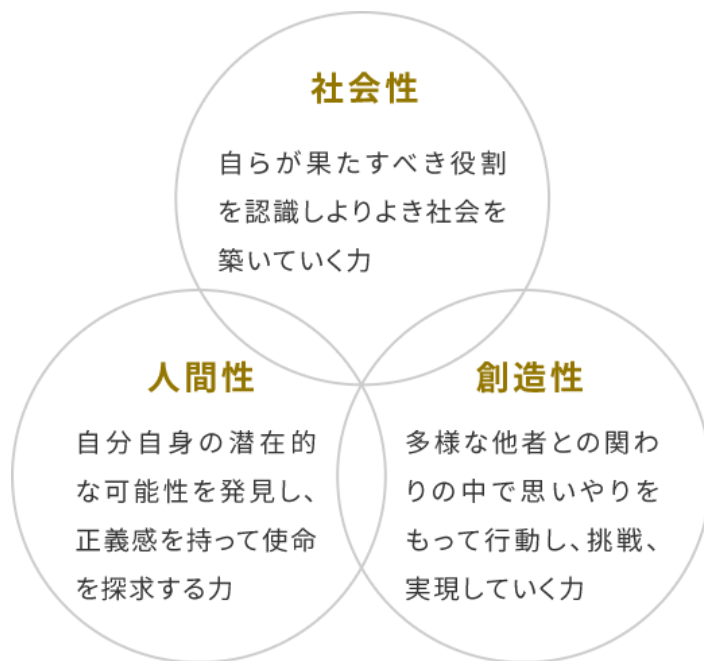
◆その他

- 学位は、博士（理学・工学・技術経営・学術）
- 標準修業年限は3年、在学年限は6年。休学は通算3年迄。→最大9年間 可。
- 特に優れた研究業績があれば、博士後期課程を短縮して修了することが可能。但し、大学院課程（修士課程＋博士後期課程）で3年以上の在学期間が必要。（参考：学士課程3年で早期卒業＋大学院課程3年で短縮修了 可能）

「学院」が提供する「理工系専門知識」という縦系と、
「リベラルアーツ研究教育院」が提供する「教養」という横系で、
東工大生の未来を紡ぎます。



リベラルアーツ研究教育院は21世紀社会の時代的課題を把握し、その中での自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く探究する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。



リベラルアーツ研究教育院「大きな志を育む」教養教育

-豊かな社会性・人間性・創造性をもって、専門的な知を実社会で活かしていくことができる志ある人材を育成します-

1 2年ごとのコア学修科目

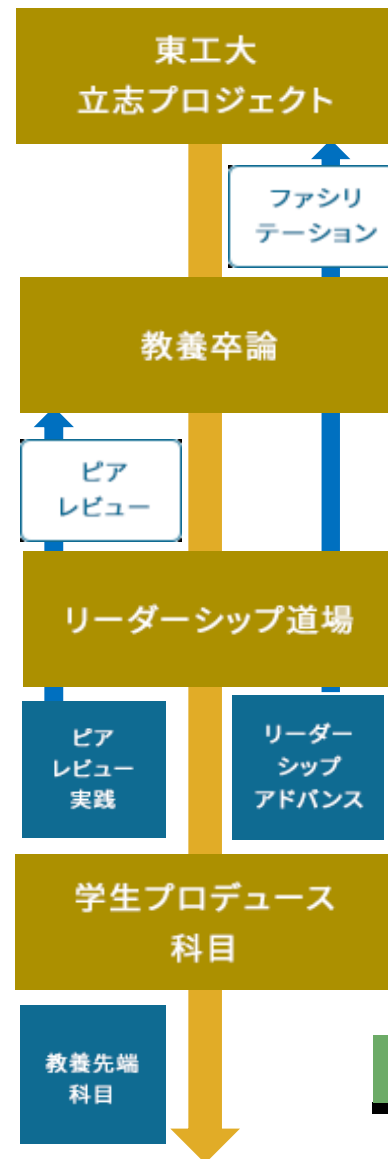
コア学修科目は、教養教育の柱となる科目。講堂での少人数クラスを交互に行いながら、自己発見と学びの動機付けを行う学部新入生向けの必修科目「東工大立志プロジェクト」や、仲間とのピアレビューを通して学びの成果を総括する「教養卒論」など、東工大ならではのユニークな科目をマイルストーンのように2年ごとに開講しています。

2 主体的な学びのストーリー

コア学修科目のほかに、文型教養科目、外国語科目、ウェルネス科目、日本語・日本文化科目の各セクションが多様な科目を提供。学生は、自分の志に即して科目を履修し、学びを主体的にデザインする。

3 教え合い・学び合い

同じクラスの仲間や上級生と、教え合い、学び合うグループワークの機会を多数用意しています。たとえば「教養卒論」は、リーダーシップ教育を受けた修士課程の学生がピアレビューアーとして加わり、グループのメンバーとともにピアレビューを行いながら執筆に取り組みます。



博士後期課程学生に必要な教養とは？

世界最高水準の理工系の研究を行うには、自らの専門分野に限定されない幅広い知識、他分野の研究の意義を理解し吸収・活用する応用力や創造性、多様な人材と交流し「知」のネットワークを広げる柔軟性や学際性が必要である。

教養先端科目

●博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるために、講演会・少人数グループワーク・発表会を経験する。

グループワークの成果であるポスター制作の過程で研究者倫理を実際に適用しながら理解を深める。

●ねらいは、履修者が先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

学生プロデュース科目

●博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるための「教養先端科目」の内容を自ら設計していく。

具体的には、博士後期課程学生が取り組む「教養先端科目」の包括的なテーマを決定後、専門家に講演を依頼し、授業の運営法、発表会の運営法や広報の方法について検討する。

●ねらいは、履修者が博士後期課程の教養科目を自律的に「設計」することを通じて、先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

学内の異なる専門分野の学生、留学生とのコミュニケーション能力の確立
リーダーシップ・学際性・情報発信能力 を身に付ける。
社会における役割の自覚

ポスタープレゼンテーション・ミニシンポジウムの開催

東工大発国際学会の設立を目標にした実践先進的プロジェクト型学習
各Qに200人の博士後期課程学生が英語でグループワーク（隔週土曜日）

次回2018年11月17日、2019年1月26日ミニシンポジウムをぜひ参観してください。

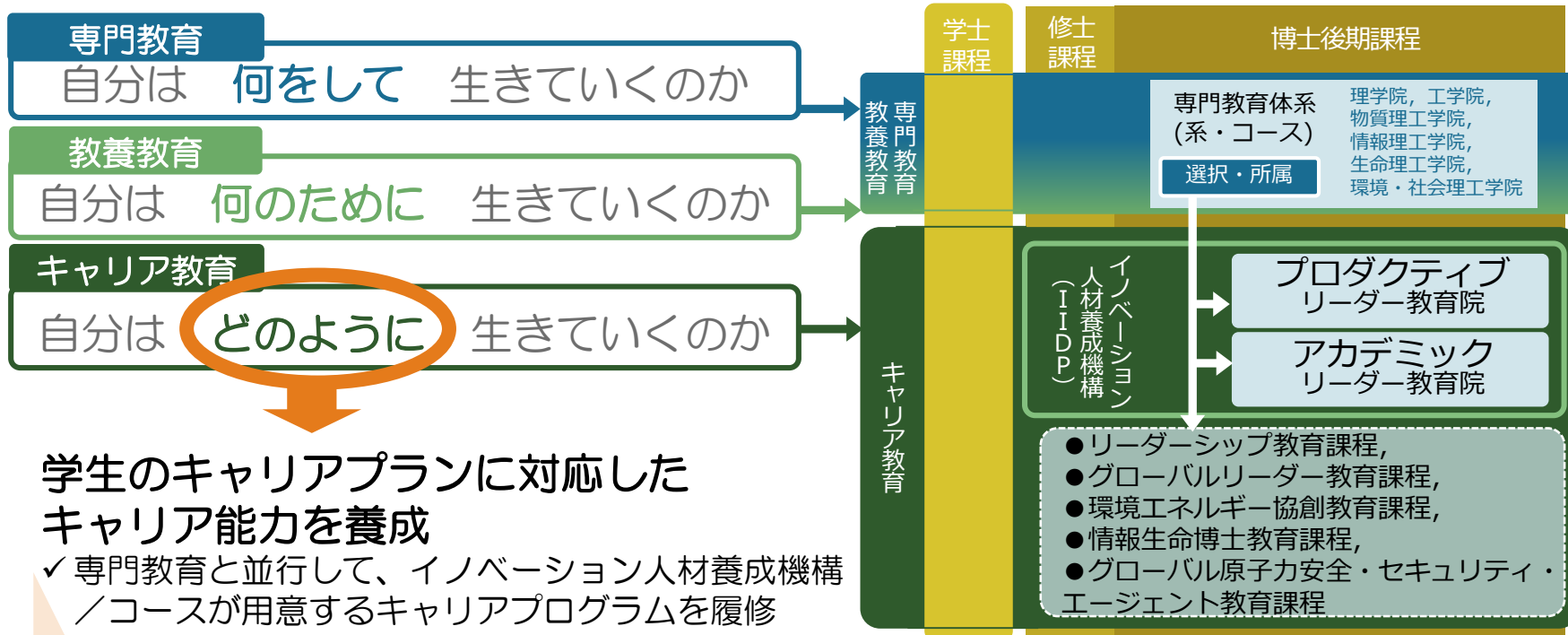
【個人情報のため画像削除】

7月21日 第7回 TokyoTech
リベラルアーツ・ミニシンポジウム

- ポスターセッション
- 講演会
- 学生スタッフ
- 益学長によるポスター特別賞表彰

キャリア能力養成の教育プログラムと学院の専門教育との関係

卓越した理工系の専門能力を身につけ、それを社会へつなげていくために



学生のキャリアプランに対応した キャリア能力を養成

✓ 専門教育と並行して、イノベーション人材養成機構／コースが用意するキャリアプログラムを履修

1. キャリアデザイン
2. 倫理
3. OJT/インターンシップ
4. リテラシー涵養
5. 社会貢献・啓発

+α

企業交流プロジェクト,
 フュージョンプロジェクト,
 博士後期課程学生のための蔵前就職情報
 交換の集い (Dr' s K-meet),
 東工大博士インターンシップ説明会

注) 修士・博士課程合わせて、30年度はキャリア科目として
 300科目以上 (内2割以上が英語開講) が提供される予定!

アカデミックリーダー教育院（ALP）選択学生に求められる Graduate Attribute

- A0D：自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる
- A1D：現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる
- A2D：社会における学術の位置づけを理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる
- A3D：教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる

プロダクティブリーダー教育院（PLP）選択学生に求められる Graduate Attributes

- POD：自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる
- P1D：社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、将来の科学技術の発展をリードできる
- P2D：異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる
- P3D：プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる

各GA修得のために用意されたキャリア科目例



<p>A0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる</p>	<p>A1D: 現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる</p>	<p>A2D: 社会における学術の位置づけを理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる</p>	<p>A3D: 教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・博士キャリアデザインI ・博士キャリアデザインII ・Doctoral Career Design III E 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALP研修基礎 ・ALP発展研修I ・ALP発展研修II ・ALP発展研修III ・ALP発展研修IV ・Technical Writing 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALP研修I (ティーチング) ・ALP研修II (海外研修) ・ALP発展研修I ・ALP発展研修II ・ALP発展研修III ・ALP発展研修IV ・Technical Discussion ・Scientific Communication ・Critical Thinking ・Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALP研修I (ティーチング) ・ALP研修II (海外研修) ・ALP発展研修I ・ALP発展研修II ・ALP発展研修III ・ALP発展研修IV ・Technical Discussion ・Scientific Communication ・Critical Thinking ・Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness
<p>P0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる</p>	<p>P1D: 社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、将来の科学技術の発展をリードできる</p>	<p>P2D: 異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる</p>	<p>P3D: プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・博士キャリアデザインI ・博士キャリアデザインII ・Doctoral Career Design III E 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル企業の研究開発実践論I ・グローバル企業の研究開発実践論II ・R&D Activities of Global Companies III ・R&D Activities of Global Companies IV ・テクノロジーマネジメント実践論 ・PLP研修基礎 ・PLP発展研修 ・Technical Writing 	<ul style="list-style-type: none"> ・PLP研修 ・PLP発展研修 ・Technical Discussion ・Scientific Communication ・Critical Thinking ・Developing Career Adaptability or Global-Competitiveness 	<ul style="list-style-type: none"> ・PLP研修 ・PLP発展研修 ・Technical Discussion ・Scientific Communication ・Critical Thinking ・Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness

例えば東工大の修士学生に求められるGraduate Attribute

COM：自らのキャリアプランを明確に描き，その実現に必要な能力を，社会との関係を含めて認識できる

C1M：自身の専門能力を学術・科学技術の発展に活用し，専門能力が異なる他者と共同して課題解決に貢献できる

日本の社会は本格的な【資格】社会に成りつつ有る

大学は、「卒業証書」を貰う場から「グレイト」(graduate) = 「グレイド」(grade 評価)を上げる場、つまり資格取得の場に変化する。

「大学卒・修士・博士」の証書・学位記

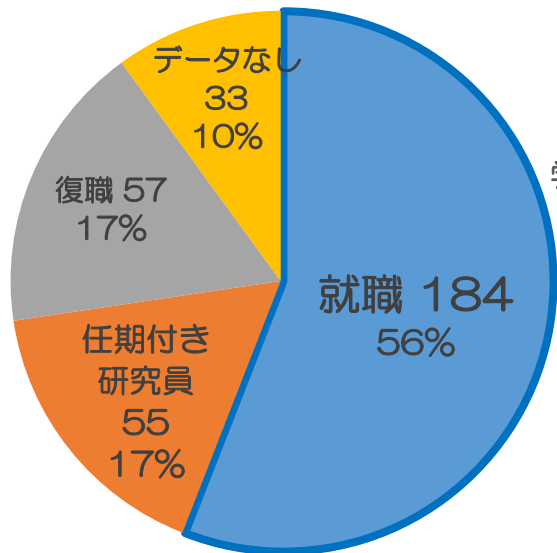
： **必要条件**

+

「東工大学士・東工大修士・東工大博士」の資格

： **十分条件**



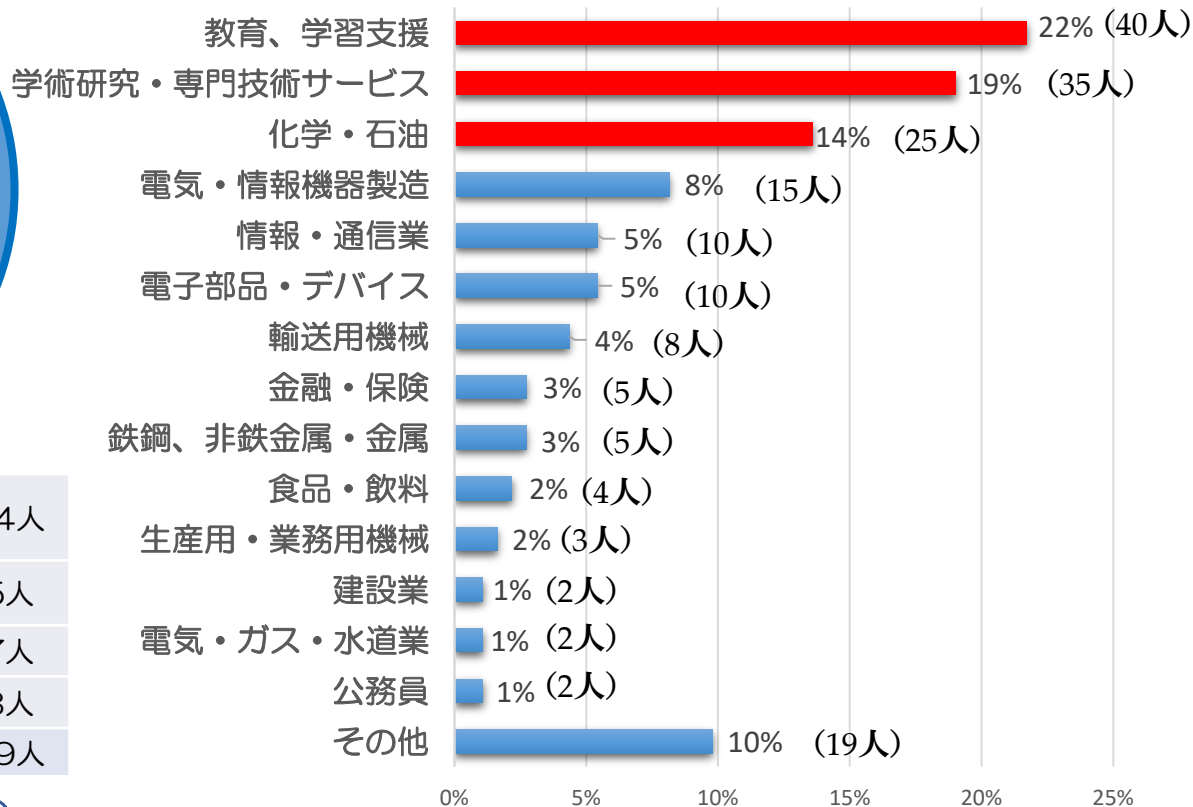


就職 (大学教員・企業・研究所等)	184人
任期付き研究員 (ポスドク等)	55人
復職	57人
データなし	33人
合計	329人

※ 主な就職先 (人数の多い順)

大学 (国内) 25人 大学 (海外) 11人 三菱電機 4人 旭化成 3人 日本原子力研究開発機構 3人
 国立環境研究所 3人 日産自動車 3人 理化学研究所 2人 日立製作所 2人 昭和電工 2人
 日本電気 2人 三井化学 2人 三菱重工 2人 他

<博士修了者 就職先 (業界)>

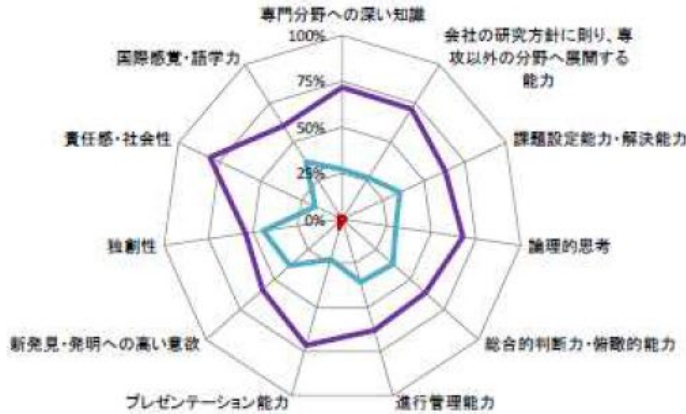


博士は教育（大学等）や学術研究・専門サービス業が多く、
 専門を活かす傾向。メーカーでは化学関係の業界での採用が活発。

修士・博士の有効性は企業においても研究開発現場では認められている。

学生の採用後の印象

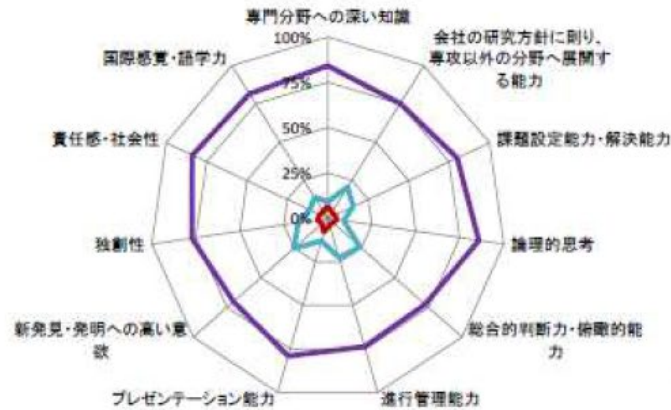
A. 学士号取得者



B. 修士号取得者



C. 博士号取得者



「東工大修士・博士」ブランド

■ 期待を上回った ■ ほぼ期待通り ■ 期待を下回った

- また、アカデミアに進もうとする場合には、博士号保有（研究経験）は前提条件。
- 企業に進む場合にも、有効性が認識されている。
- キャリアの選択肢を広げられる！

1. 学内からの進学

詳細：本学HP >> 在学生の方 >> 学位取得 >> 学修案内等一覧

検定料：なし 入学料：なし

(H31年4月進学)

11月6日：進学願書配布開始

@【大岡山】教務課大学院グループ窓口

@【すすかけ台】教務課すすかけ台教務グループ窓口

12月3日：進学願書提出締切

1月28日～

2月20日：進学試験実施

3月中旬：進学者決定

内容は志望先による。

※外国語試験についても志望先によって異なるため大学院学修案内を参照のこと。

2. 学外からの入学

詳細：本学HP >> 大学院で学びたい方 >> [大学院課程入学案内](#)

検定料：3万円 入学料：28.2万円

(H31年4月入学)

11月9日：募集要項配布開始

@入試課・守衛所（窓口又は郵送）

1月11日～16日：入学願書受付

2月8日～19日：試験期間

3月8日：合格発表

◎詳細は募集要項を確認

◎出願前に志望指導教員と相談すること

各コース毎の説明会は、HPを参照

詳細：本学HPトップ>>大学院で学びたい方 >> 説明会・オープンキャンパス>> 大学院説明会

1. TA・RA制度

教育・研究の業務補助で時間単価による給与

2. 入学料・授業料の免除/徴収猶予

経済的な理由により納付が困難かつ学業が優秀と認められる者

3. 奨学金

(1) 日本学生支援機構 (JASSO) による奨学金

(2) 民間財団等による奨学金 (日本人学生向け)

(3) 民間財団等による奨学金 (私費外国人留学生向け)

(4) 東工大基金奨学金『草間秀俊記念奨学金』

(5) 東工大による博士後期課程学生向けの新しい給付型奨学金 (設計中)

4. 日本学術振興会による制度・プログラム

■ (1) 「特別研究員(DC)」制度

■ (2) 「海外特別研究員, 海外特別研究員-RRA」制度

■ (3) 若手研究者海外挑戦プログラム

経済的支援の概要_1. TA・RA制度, 2. 入学料・授業料の長中猶予・免除

1. TA・RA制度

詳細：<http://www.jinjika.jim.titech.ac.jp/syoku/index.html>

RA（リサーチアシスタント）

……研究実験の補助など、研究にかかわる業務補助を行う学生

TA（ティーチングアシスタント）

……教育や授業の補助・準備など、教育にかかわる業務補助を行う学生

※大学から時間単価の給与を受け取ることができます。ただし勤務時間に上限あり。

TA (D) …本学の教育の質を高め、博士後期課程学生の教育力を身に付ける機会を設けています。
(その対価としてTA経費を支給。)

2. 入学料・授業料の免除/徴収猶予

詳細：本学HPトップ ≫ 大学院で学びたい方 学生支援 ≫ 授業料免除・入学料免除

- 入学料免除/徴収猶予：入学料を半額免除、徴収猶予できる制度です。
 - ※ 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認められる者。
(学内進学者は入学料無し)
 - ※ 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた者
- 授業料免除/徴収猶予：授業料の全額か半額を免除、もしくは徴収猶予できる制度です。
 - ※ 上記条件と同様

経済的支援の概要__3. 奨学金

3. 奨学金 詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金

(1) 日本学生支援機構 (JASSO)

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [日本学生支援機構奨学金](#)

日本人学生、永住者等の外国人学生を対象とした、本学の約2割の学生が利用している我が国最大の貸与奨学金です。第一種奨学金は無利子、第二種奨学金は有利子となっています。

種類	貸与月額
第一種奨学金（無利子）	8万円、12.2万円から選択
第二種奨学金（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

(2) 民間財団等奨学金について(日本人学生向け)

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [民間財団等奨学金（日本人学生向け）](#)

大学の推薦なしで直接申請できる奨学金と、大学からの推薦を必要とする奨学金の2種類があります。地方公共団体の奨学金は、主に貸与奨学金（返還必要・無利子）であり、民間財団の奨学金は、給与奨学金（返還不要）と貸与奨学金（返還必要・多くが無利子）の2種類に分かれます。

(3) 私費外国人留学生用奨学金

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [留学生向け奨学金](#)

地方公共団体での募集、民間の財団等での募集があり、それぞれ貸与型と給与型の奨学金があります。また、給与型の東京工業大学基金奨学金もあります。

(4) 東工大基金奨学金『草間秀俊記念奨学金』

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [民間財団等奨学金](#) ≫ [東京工業大学基金奨学金](#)

対象：博士課程1年次の者（4月現在） ※所得条件あり
採用予定人数：2名 奨学金の額：月額6万円

(5) 東工大による博士後期課程学生向けの新しい給付型奨学金（設計中）

- ・次年度以降から実施予定
- ・多くの学生に受給資格

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

4. 日本学術振興会による支援制度・プログラム

(1) 「特別研究員(DC)」制度

制度の概要

「特別研究員(DC)」の制度は、大学院博士課程在学者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金(月額20万円)を支給する制度です。

また、特別研究員採用者は、科研費(特別研究員奨励費)への応募資格が付与されます。採用内定後、研究計画調書を提出することにより、採用期間中、原則全員が年間100万円前後の研究費を受給できます。採択率は20~25%程度(平成30年度は21.0%)。

●対象者・・・各採用年度の4月1日時点で大学院博士課程に在学している者(予定含む)です。

●応募時期・・・採用年度の1年前の3~6月ごろです。

(平成31年度採用分の応募書類学内提出の締切は5月17日です)

来年の3月から募集が始まるのは、平成32年度採用分(H32.4.1~採用開始)です。

応募区分

DC1

応募区分は2種類、DC1とDC2です。

基本的に、DC2は応募時に博士課程に入学済みの方、DC1は応募時には博士課程に進学「予定」の方が対象です。つまり、DC1にはM2の時期に応募することがほとんどです。

DC2

※入学時期によっては上記に当てはまらない場合もあります。

DC1とDC2の違いは主に下記の点です。

≫応募区分・・・上記のとおり

≫審査区分・・・申請する資格(DC1またはDC2)毎に審査

≫採用期間・・・DC1は3年間、DC2は2年間

研究奨励金の額など待遇に差はありません。

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

研究奨励金と特別研究員奨励費

研究奨励金

研究奨励金は、特別研究員に採用された方が貰える月々の給与のようなものです。DC1、DC2ともに月額20万円が支給されます。研究奨励金の**使途は自由**です。

特別研究員奨励費

特別研究員奨励費は、特別研究員に採択された方のみが応募できる科研費の一種です。採用期間中、**年度ごとに100万円前後**の研究費が受給できます。

研究のための補助金ですので、自身の**研究遂行のためにしか使用できません**。

特別研究員に採用された方は基本的に全員受給できますが、**応募時に提出する研究計画調書の内容を審査され受給額が決定**します。

特別研究員(DC)に採用されると、月額20万円の自由に使用できるお金と、年間100万円前後の研究費が受給できます。**原則的に、上記以外の報酬や、資金援助の受給は認められません**。アルバイトや奨学金などは、採用までに退職・辞退しなければなりません。(RA・TA等、例外的に受給可能なものはあります)

採用後の就職状況について__特別研究員DCのキャリアパス

日本学術振興会のWebページに就職状況調査が掲載されています。

http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_syusyoku.html

《学振の調査結果より》(平成29年4月1日現在)

日本学術振興会特別研究員-DCは、採用期間終了5年経過後調査では、**79.5%**が「**常勤の研究職**」に就いており、我が国の研究者の養成・確保の中核的な役割を果たしている。

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

応募スケジュール

次回の募集は平成32年度採用分です。募集要項が未公開のため、例年のスケジュール通りと仮定して掲載します。

H31.3	募集開始（募集要項等の公開）
H31.4上旬	電子申請システムで申請書受付開始
H31.6上旬	申請書提出の締切
H31.10	一次結果開示（採用内定(面接免除)、面接候補、不採用） →面接候補となった方のみ二次選考（面接）へ
H32.1	二次結果開示（面接候補→採用内定、不採用、補欠）
H32.2	補欠結果開示
H32.4.1	採用開始

東工大では、毎年3月上旬に応募者向けの説明会を開催しています。応募をお考えの方はぜひご参加ください。

参考情報

日本学術振興会

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>



事務局3号館

東京工業大学 日本学術振興会 特別研究員

http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps_tokken/index.html

問い合わせ先

東京工業大学

研究推進部 研究資金支援課 研究資金助成グループ
事務室：事務局3号館2階

（大岡山キャンパス正門から学内セブンイレブンに向かって
直進、左側、検収センターの一つ先隣の建物）

メール：j-fellow@jim.titech.ac.jp

TEL：03-5734-3806（内線3806、7221）

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

(2) 「海外特別研究員」, 「海外特別研究員-RRA」制度

制度の概要

「海外特別研究員」の制度は、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する制度です。採用者には、以下の経費が支給されます。

■往復航空賃

■滞在費・研究活動費

(派遣国によって異なる。年額約450万円~620万円) 採択率は20%前後(平成30年度は22.9%)

対象者・・・各採用年度の4月1日時点で、博士の学位を取得後5年未満の者
(申請時においては見込みでも良い)

派遣期間・・・派遣開始日から2年間

「海外特別研究員-RRA」の制度は、優れた若手研究者が結婚・出産・育児・看護・介護のライフイベントによる研究中断等の後に、海外の特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する制度です。採用者には、以下の経費が支給されます。

■往復航空賃(子を同伴する場合には、帯同する子にかかる往復航空賃も含む。)

■滞在費・研究活動費(派遣国によって異なる。年額約450万円~620万円)

■子供手当(帯同する子一人につき滞在費・研究活動費の10%相当)

対象者・・・

- ・以下のいずれかによる研究中断等の期間が通算90日以上ある者
 - (1) 申請者本人又は配偶者の出産又は育児
 - (2) 家族の看護
 - (3) 家族の介護
 - (4) 結婚に伴う転居による辞職
- ・各採用年度の4月1日時点で、博士の学位を取得後10年未満の者
(申請時においては見込みでも良い)

派遣期間・・・派遣開始日から2年間

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

採用後の就職状況について__海外特別研究員のキャリアパス

日本学術振興会のWebページに就職状況調査の結果が掲載されています。

https://www.jspss.go.jp/j-ab/ab_syusyoku.html

《学振の調査結果より》平成26年度採用者分（平成28年度までに終了した者）
平成26年度に採用された海外特別研究員204人は、採用期間終了後、
常勤の研究職（任期付き等を含む）に111人（54.4%）就いており、
非常勤も含めた研究職に就いている者は、195人（95.6%）となった。

応募スケジュール

次回の募集は平成32年度採用分です。募集要項が未公開ため、例年のスケジュール通りと仮定して掲載します。

- H31.2 募集開始（募集要項等の公開）
- H31.4 申請書類の学内提出締切
- H31.8 一次選考結果開示（採用内定(面接免除)、面接候補、不採用）
→面接候補者のみ二次選考へ（9月下旬～10月上旬・面接）
- H31.10 二次選考結果開示（面接候補者→採用内定、不採用、補欠）
- H32.4.1 順次派遣開始

※申請書類の学内提出期限は、**日本学術振興会の締切より早く設定されています**。東工大HPに掲載される学内募集要項で、必ずスケジュールを確認してください。 <https://www.iad.titech.ac.jp/funding/top.html>

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

(3) 若手研究者海外挑戦プログラム

制度の概要

「若手研究者海外挑戦プログラム」は博士後期課程在籍者に、3か月～1年程度海外の研究者と共同研究に従事する機会を提供する制度です。採用者には、以下の経費が支給されます。

■往復航空賃

■滞在費（派遣国によって異なる。派遣期間に依らず100万円～140万円）

■研究活動費（派遣先機関の請求書に基づき、ベンチフィー20万円まで支給）

採択率は約48%（平成30年度は53.5%）

対象者・・・各採用年度の4月1日時点で、博士後期課程に在籍する者
（申請時においては見込みでも良い）、
連続して3か月以上、研究のために海外に滞在した経験がない者

派遣期間・・・派遣開始日から3か月～1年

参考情報

日本学術振興会

<https://www.jsps.go.jp/j-ab/index.html>（海外特別研究員-RRA）

<https://www.jsps.go.jp/j-abc/>（若手研究者海外挑戦プログラム）

東京工業大学 国際交流助成事業（学内限定）

<https://www.iad.titech.ac.jp/funding/top.html>

問い合わせ先

東京工業大学

国際部 国際事業課 国際基盤グループ

事務室：南6号館3階306号室

（大岡山キャンパス正門から学内セブンイレブンまで直進し、左手の建物）

メール：kokuji.isps@jim.titech.ac.jp

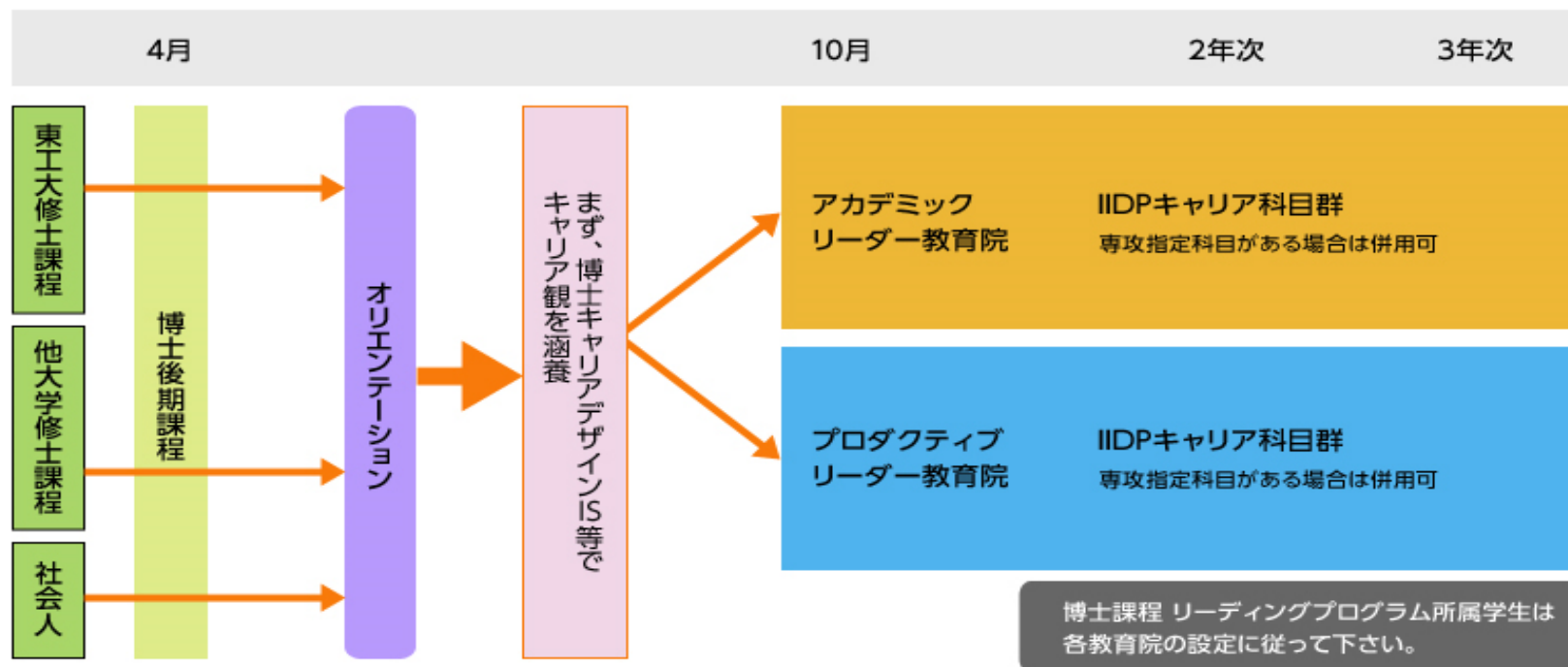
TEL：03-5734-7690（内線7690）



南6号館

博士後期課程に入学後、自身の想定するキャリアプランに基づいて
アカデミックリーダー教育院（学術界・大学等のキャリア） もしくは
プロダクティブリーダー教育院（企業等で活躍するキャリア） を選択*し
能力養成のプログラムを必修化している。

◆ 博士後期課程修了までの流れ（イメージ図）



- 学部、修士学生同様、各系コースでの就職支援、キャリアアドバイザールームでの支援に加え、イノベーション人材養成機構(IIDP)の設定するキャリア科目群は、博士人材と企業の接点を形作るものが多数。<http://www.iidp.titech.ac.jp/program-index.html>「IIDPキャリア教育プログラム」で検索！)
- 東工大博士の採用のため「Dr's K-meet(旧 ドクターズキャリアフォーラム)」に**80社以上**の企業が学内に来訪。
 - 博士採用情報収集や、企業の人事と直接コミュニケーションが取れる。
(日本最大級の博士専用キャリアフェア)
 - フュージョンプロジェクト(ポスターセッション)を通じて学生から企業へ研究内容のアピール可能。
- 「PLP研修」(長期インターンシップ)等を通じ、就職につながる例も多数。
- 企業人を講師に招き、実践的キャリア観養成だけでなく、経団連と協働する「PLP発展研修」
基本的活動方針は修士/学部と変わらない、「専門性」が勝負。(東工大の強み)
「博士への期待」にえられる、しっかりした研究能力、高い専門性、それらを伝えるコミュニケーション能力を発揮する。

キャリア科目やイベント等の機会を通じて、企業との強いパイプをつくる。

毎年12月にドクター向けキャリアイベントを学内で開催
「Dr's K-meet」(昨年度まではDCF)

2018「Dr's K-meet」出展予定企業(一部抜粋)

JFEスチール株式会社、JT(日本たばこ産業株式会社)、旭化成、大塚製薬株式会社、
沖電気工業株式会社、花王株式会社、京セラ株式会社株式会社、株式会社大林組、株式
会社神戸製鋼所、コニカミノルタ株式会社、株式会社島津製作所、昭和電工株式会社、
新日鐵住金株式会社、住友重機械工業株式会社、スリーエムジャパン株式会社、
セイコーエプソン株式会社、ソニー株式会社、一般社団法人電力中央研究所、(株)東
芝、日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、みずほ
総研株式会社、三菱電機株式会社、三井物産株式会社、富士フィルム株式会社、他

参加資格：博士後期学生/ポスドク限定

<同時開催>

フュージョンプロジェクト

(学生によるポスターセッション
自分の研究について企業へ直接
アピールする場)

個別ブース説明

企業からの会社・仕事内容、採用等
についての説明

キャリア相談窓口

- 系・コースの就職担当教員及び指導教員による個別相談
- 専任のキャリアアドバイザー（4名）による個別相談
- 蔵前工業会（同窓会組織）のくらまえアドバイザーによる個別相談

主なキャリア支援関連イベント

M1, D

- 6月 進路ガイダンス
就職に限らず、進学や公務員等「進路」すべてへの考え方を解説
- 11月 留学生ガイダンス
留学生を対象として日本での就職についてのスケジュール、考え方を解説
- 11月 就職ガイダンス
就職を希望する学生への全体的な考え方、スケジュールなどを解説
- 1月 仕事とキャリアセミナー
先輩による企業でのキャリアや業務についての講演
- 2～3月 エントリーシート・面接対策講座（複数回）
具体的な就活でのスキル指導

M1 → M2, D

- 3月,4月 蔵前就職情報交換の集い(K-meet)
3月は約300社、4月は約100社の企業が大学で会社説明会と交流会を実施
- 6月,12月 就職活動再点検講座Ⅰ、Ⅱ
この時点で無内定者への指導

博士学生及びポスドク限定
 博士人材と企業の日本最大級のマッチングイベント！
 博士後期課程学生のための

蔵前就職情報交換の集い

Dr's K-meet

2018年12月19日(水) @大岡山キャンパス

主催：一般社団法人蔵前工業会 共催：国立大学法人東京工業大学 学生支援センターキャリア支援部門

タイム テーブル

- ・ブース展示会 15:00～18:00
- ・交流会 18:30～20:00

特記事項

- ・参加費無料、入退場自由

開催 場所

- ・ブース展示会 東工大蔵前会館(TTF) 1階及び3階
- ・交流会 第一学生食堂2階

参加企業

83社

(企業リストは、
 右のQRコードから
 見ることが出来ます)



対象

博士後期課程学生及びポスドク限定
 (修士課程、学士課程学生は参加不可)

Dr's K-meetとは？

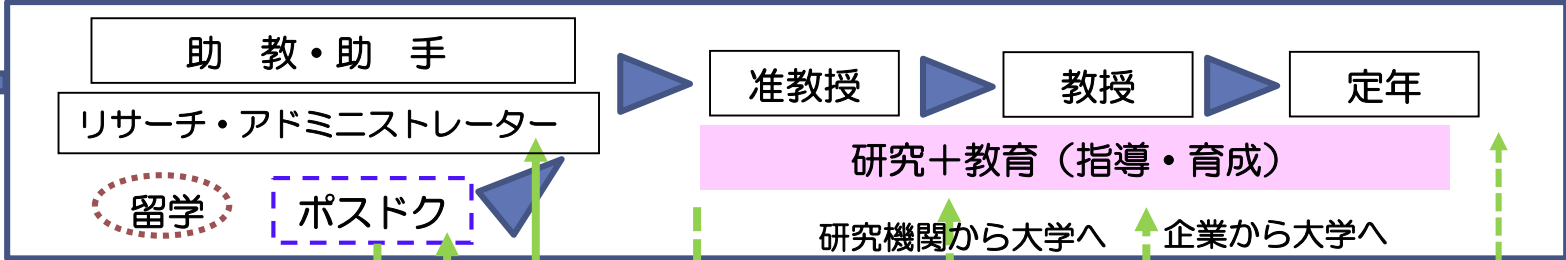
昨年まで東京工業大学学生支援センターが実施していたドクターズキャリアフォーラム (DCF) を、今年は蔵前工業会 (東工大全学同窓会) が継承・発展させ、Dr's K-meetとして開催することになりました。博士人材 (博士後期課程学生と若手ポスドク) 全員に参加資格があります。今年からは新たに交流会も設けました。交流会では企業担当者から生のお話が聞けます。

友達を誘い事前登録の上、ご参加ください (事前登録開始は11月からです)。

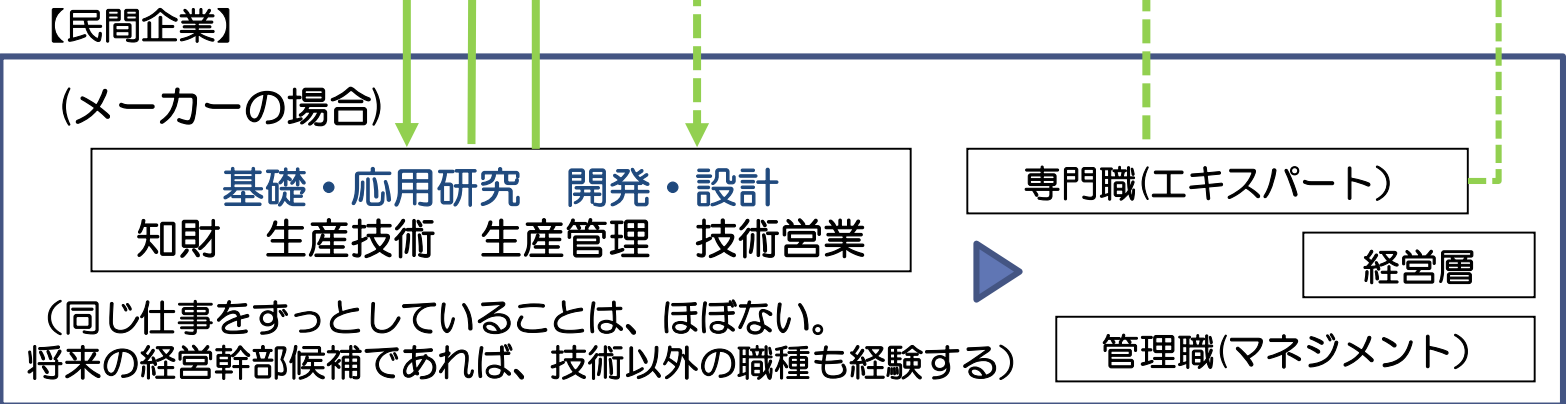
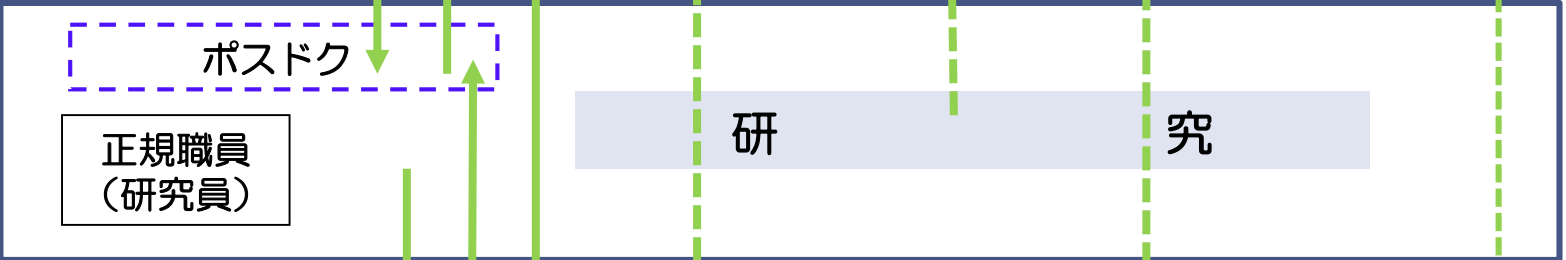
<博士キャリア (一例)>

博士

【大学】 28歳～ 35～40歳 40～45歳 65歳



【各種研究機関】 (独立行政法人等)
 任期制のポストはかなり数がある。ここで力をつける。



【公務員】 国家公務員 (総合職・専門職 等)
 地方公務員 (行政職・技術職 等)

<アカデミアで職を得るには>

●学会発表、論文掲載に向けて研究を進める

—先輩研究者が必ず見ている（良い学生はいないか？）

学会の時に声をかけられたり、自分から他の研究者（教授クラス等）に話しに行ったり、このようなこと（人脈）から決まっていくパターンも多い。

●論文の本数

—重要な経歴となる。

数は少なくともキラリと光る、しっかりした論文があれば良い。

●海外の大学への留学

—世界の研究者たちと共に研究する「武者修行」。グローバルな研究ネットワークを作ることができる。

—未知なる場所に飛び込んでいくタフさと、その場に適応していく柔軟さが養われる。

—実績をあげて帰国すれば、よりステップアップが可能。

<アカデミア就職の時期 一例>

• 日本学術振興会の特別研究員に応募する（M2、D1、D2の5月応募締切。修学年次に応じて若干審査基準や 任期が異なる。採択されれば翌年から給与と研究費が支給され、研究経歴としても高く評価される）。

• D2の終わり頃からD3の夏頃に、先輩や教授の人脈や、一般公募についてはJREC-INから探し、自身で応募 する。書類（業績調書や研究教育に関するプランなど）、面接、模擬授業（英語で実施の場合も）等をも基に 段階的に選考。

<アカデミア就職を考える人は>

• 研究が好き（これが1番）

• 研究の力にプラスして、挑戦心、忍耐力、情報収集力、人脈形成力が求められる（これから身につけていくことでも大丈夫）。